7月1日現在の大崎市の人口（単位：人・世帯）

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	37,910	＋ 37	39,343	＋ 13	77,253	＋ 50	32,129
松山	2,822	0	2,996	－ 2	5,818	－ 2	2,190
三本木	3,823	－ 3	3,848	－ 8	7,671	－ 11	2,711
鹿島台	5,589	－ 13	5,950	－ 9	11,539	－ 22	4,550
岩出山	5,052	－ 18	5,231	－ 6	10,283	－ 24	4,133
鳴子温泉	2,699	－ 9	2,946	－ 12	5,645	－ 21	2,634
田尻	5,171	－ 5	5,270	－ 20	10,441	－ 25	3,613
市全体	63,066	－ 11	65,584	－ 44	128,650	－ 55	51,960

問 市政情報課統計担当　☎23-5091

交通死亡事故件数

（7月15日現在・右欄は前年比）

発生件数	3 件	＋ 3
死亡者数	3 人	＋ 3

火災発生件数

（6月末日現在・右欄は前年比）

建物火災	10 件	＋ 2
林野火災	0 件	－ 3
車両火災	1 件	－ 3
その他火災	9 件	＋ 6
合計	20 件	＋ 2

空間放射線量の測定結果

（単位：マイクロシーベルト /h）

7月20日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.04	0.04
松山総合支所	0.05	0.04
三本木総合支所	0.04	0.04
鹿島台総合支所	0.04	0.04
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.04	0.04

問 防災安全課消防担当・交通防犯担当　☎23-5144

今月の納税

納期限：8月31日(月)

※市から送付する納付書や口座振替を利用している人の納期限です。口座振替を利用している人は、記帳にて残高と振替結果を確認してください。

□ 軽自動車税	—
□ 固定資産税・都市計画税	—
✓ 市県民税	第2期
✓ 国民健康保険税	第2期
✓ 介護保険料	第2期
✓ 後期高齢者医療保険料	第2期

問 納税課収納担当　☎23-5148

8月号の主な内容

❹ 熱中症に注意して「新しい生活様式」を健康に過ごしましょう！
❻ 農林業系汚染廃棄物の焼却処理に取り組んでいます
❽ SAKIGAKE VOL.4「ささぽん」
❿ 市政トピックス　7月の主な出来事
⓫ 地域発！お・ら・ほ・の・ま・ち
⓬ オオサキプレイガイド
⓮ 今月のお知らせ こくほ健康ポイント事業に参加しましょうほか
㉖ 子育て支援情報
㉗ 育児相談・乳幼児健診
㉘ 休日当番医　ほか

パタ崎さんの観光ひとくちメモ

その49

ありがとう
「リゾートみのり号」
ようこそ
「快速 湯けむり号」

問 観光交流課 ☎23-7097

平成20年10月から陸羽東線と東北本線を運行していたJR東日本の観光列車「リゾートみのり号」が、今年8月8日から10日に最後の運行をすることになったんだ。

デビューして以来、多くの皆さんに親しまれてきた「リゾートみのり号」。これまでのありがとうの気持ちを込めて、みんなで手を振ってお見送りしようね！

そしてこれからは「リゾートみのり号」に代わり、新たに「快速 湯けむり号」が、陸羽東線と東北本線を元気に走ることになったよ。車両前面には「リゾートみのり号」の紅葉をイメージした深緋（ふかひ）色と、稲穂をイメージした金色を受けついだロゴデザインがあるよ。側面は、温泉てぬぐいをイメージしたラッピングがされているんだって。早く見てみたいし、乗車もしたいな。

この「快速 湯けむり号」も「リゾートみのり号」のようにみんなで歓迎して、見かけたら手を振ってね！

今月の表紙

市内小中学校、公立幼稚園を対象に、仙台牛と『ささ結』のご飯を学校給食に提供する「ふるさと給食」を実施しています。

この取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響により、消費が落ち込んでいる仙台牛と大崎耕土産米の消費促進とともに、資料を用いた説明を行い、子どもたちが地場産食材への理解を深められるよう行っています。

7月9日、伊藤市長、熊野教育長が長岡小学校を訪問し、5・6年生の皆さんと一緒に、仙台牛のステーキを味わいました。

普段の給食では味わうことができないメニューに「かめばかむほど味わいがでてくる」と、みんな笑顔で食べていました。ふるさと給食は、各学校3回、仙台牛を使ったメニューが提供されます。

オオサキワンダーミュージアム
人と大自然の青空博物館

vol.4

世界農業遺産「大崎耕土」副読本を作成しました

問 世界農業遺産推進課自然共生推進担当
☎23-2281

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、大崎耕土の伝統を後世につなぐための人材育成を行っています。

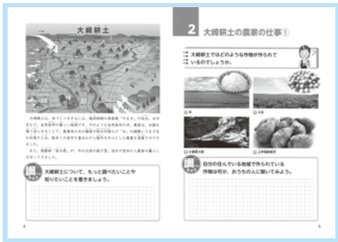
人材育成の一環として、世界農業遺産「大崎耕土」副読本を作成し、大崎地域1市4町の小学3年生から6年生の児童へ配付しました。

この副読本を通して、世界的に重要な農業システムと、それを築きあげた先人の知恵と絶え間ない努力を学ぶことで、それらを次世代に伝え、誇るべき郷土の宝として継承していく語り部の育成を目的としています。内容は、児童が興味・関心を持ち、校外へ持ち出しての活用など、意欲的に学習に取り組めるようなものとなっています。

また、副読本を8ページに編集し、教育旅行や交流事業などで、大崎耕土を訪れる地域外の小・中学生を対象としたパンフレットも作成しました。

作成した副読本とパンフレットは大崎耕土ウェブサイトに掲載しています。学校での学習だけでなく、家庭学習でも利用できますので、ぜひご覧ください。

◀世界農業遺産「大崎耕土」の象徴である屋敷林「居久根（いぐね）」を用いた表紙



◀イラストや写真を用いてわかりやすく解説

大崎耕土ウェブサイト
OSAKI KOUDO Website

市長コラム 天地人

初孫誕生

♪なんでこんなに可愛いのかよ
孫という名の宝もの
じいちゃんあんたにそっくりだよと
人に言われりゃ嬉しくなって
下がる目じりが下がる目じりがえびす顔♪

大ヒットした、山形県のさくらんぼ農家歌手 大泉逸郎さんの「孫」の歌詞の一節です。

一昨年結婚した二人の娘が、そろって女の子を出産しました。コロナ禍のため初対面は退院までお預けでしたが、誕生時の体重は共に3100グラム台で、泣き声の大きな元気な赤ちゃん達です。

赤ちゃんを抱くのは30数年ぶり、おっかなびっくりに抱っこし、命の誕生に感激しました。

「孫は目に入れても痛くない」・・・って本当だったんだなと実感し、守るべき家族が増えたことに責任を感じる新米爺さんです。

人類以外の他の動物では、孫が生まれるまで親が生存することがほとんどないので、孫の面倒を見るという生活習慣はないようです。

その人類も「孫とひと時を楽しめる」ようになったのは、つい最近になってからのようです。日本人の平均寿命は、江戸時代30歳代、明治・大正時代では40歳代、孫に巡り会える前に平均余命は尽きていたことになります。

昭和22年にようやく「人生50年」を超え、今や、世界一の長寿国。初孫誕生平均年齢が男性63歳、女性61歳といわれますので、男性は約20年、女性は約25年も孫と過ごすことが可能な幸せな時代となりました。

長寿でいつまでも元気なジィジとババが孫とどう関わっていくべきなのか！

どのような社会を創ってあげられるのか！責任重大です。

大崎市長 伊藤康志